

Title	日本国民のパーソナルアーカイブ構想(3)：「パーソナルアーカイブ」とは何か：Web 上の「パーソナルアーカイブ」概念
Author	村上, 晴美
Citation	大阪市立大学学術情報総合センター紀要. Vol. 8, p.19-23.
Issue Date	2007-03
ISSN	1345-4145
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学学術情報総合センター
Description	

Placed on: 大阪市立大学学術機関リポジトリ

Placed on: Osaka City University Repository

日本国民のパーソナルアーカイブ構想(3) —「パーソナルアーカイブ」とは何か: Web 上の「パーソナルアーカイブ」概念—

村上 晴美[†]

著者は日本国民のパーソナルアーカイブ構想を検討している。本稿では「パーソナルアーカイブ」という語が日本でどのように使用されているかを調べるために、2007年3月にGoogleで「パーソナルアーカイブ」と入力して日本語のページを検索した。74件の検索結果を分析したところ以下のことがわかった。(1) Web上のパーソナルアーカイブ概念は「個人の持つファイルの保存」と「ホームページやブログの永久保存」に大別できた。(2) すべてに共通する概念は「個人のデジタルデータの保存」であった。
キーワード: 日本国民, パーソナルアーカイブ, Web調査

Personal Archive for Japanese Citizens (3) - What is “Personal Archive?”: How “Personal Archive” is described on the Web -

MURAKAMI Harumi[†]

1. はじめに

著者はこれまで、日本国民の人生の記録を蓄積する日本国民のパーソナルアーカイブ構想を検討している[1,2]。「パーソナルアーカイブ」は「パーソナル」と「アーカイブ」の2つの語を組み合わせたものであるが、用語として確立されていない。そこで、一般的には「パーソナルアーカイブ」という語がどのように使用されているのか、また、著者の検討している「パーソナルアーカイブ」と一般的な概念との相違点があるか、調べる必要があると考えた。本稿では、「パーソナルアーカイブ」という語が日本でどのように使用されているのかを検討する。

まず、辞書で調べた。広辞苑第5版[3]によると、「パーソナル (personal)」は「個人的。個人用。—身上。」であり、「アーカイブ」は存在しなかった。次に、2007年3月1日にWeb上のデジタル大辞泉[4]で調べたところ、「パーソナル (personal)」は「1 一個人に関するさま。個人的。私的。」であり、「2 他の語の上に付いて、個人用の、小型で手軽な、などの意を表す。」であった。「アーカイブ (archive)」とは「1 公文書。古文書。公文書保管所」であり、「2 コ

ンピュータで、複数のファイルを一つにまとめたファイルのこと。通常は圧縮されている。また、インターネット上で公開されたファイルの保管庫を意味する場合もある。」であった。「パーソナル」に比べると「アーカイブ」の定義は揺れているようである。

また、同日に国立国会図書館のNDL-OPAC[5]で「パーソナルアーカイブ」と入力して検索したが、検索結果はなかった。パーソナルアーカイブという語をタイトルに含む和図書が存在しないことがわかる。

本稿では、Web上において「パーソナルアーカイブ」という語がどのように使用されているのかを調べる。2, 3, 4節では検索エンジンを用いた調査の方法、結果、考察を述べる。5節では著者が検討している「日本国民のパーソナルアーカイブ」とWeb上のパーソナルアーカイブ概念の相違点を検討する。

2. 方法

Web検索エンジンGoogleを用いた調査を行う。Googleでは「パーソナルアーカイブ」を「パーソナル」と「アーカイブ」に分解して検索を行い、それらの語がリンク元あるいは該当ページに含まれる場合に検索結果として表示する。

2007年3月5日にGoogleで「パーソナルアーカイブ」という検索質問を与え、「日本語のページを検索」を選択して検索を行った。

[†] 大阪市立大学大学院創造都市研究科 兼 学術情報総合センター
Graduate School for Creative Cities and Media Center,
Osaka City University

表1: Google における「パーソナルアーカイブ」の74件の検索結果

順位	タイトル	種類	順位	タイトル	種類
1	ITmedia +D LifeStyle: パーソナル・	○	41	Welcome to EIZO Shimbun	4
2	日本国民 日本国民 日本国民 日本国民のパーソナルアーカイブ ...	○	42	パスワード認証画面/登録データの修正・削除	5
3	パーソナルアーカイブドキュメンタリー&デジタルパーソナルフィルム	○	43	田中研究室 - ブログ	2
4	サービス・システム表彰の部	○	44	パスワード認証画面/登録データの	5
5	激安格安XOOPSレンタルサーバー比較/XOOPS対応レンタルサー	○	45	パスワード認証画面/登録データの修正・削除	5
6	ワンズ【メディアコンテンツサプライ】	○	46	山口県周防大島町[TOWA ONLINE]パスワード認証/登録データの修	5
7	「第18回デジタルコンテンツグラン	4	47	パスワード認証画面/登録データの	5
8	未来に残したいブログ募集 - ブログアーカイブのススメメモリアル ...	○	48	さるさる日記 - 仕事と家庭と勉強 慶應通信→大学院→出版3冊	○
9	5分でできるフォトシネマ	4	49	デジタルステージ - Wikipedia	4
10	DIGITALSTAGE 会社情報 受賞	4	50	Daily Searchivist	1
11	DD58EIP34	2	51	パスワード認証画面/登録データの	5
12	ズープス・サポート・ポータル/XOOPSサポート XOOPSコミュニティ	5	52	「こんなの知ってる? WEBの星 YELLOW-NAVIマガジン」 melma!	5
13	米LookSmart、10代の若者向けなど5分野のパーソナルサイト開設	○	53	はてなブックマーク - ソーシャルブックマーク	5
14	SPORE EDITOR'S DAYS:2005年01	○	54	冠婚葬祭	5
15	「ずっとずっと マクセルDVD」宣伝キャンペーン 好評シリーズ第4弾 ...	○	55	ホームページ	5
16	【サイト内主要キーワード】シニアその余韻/シニアのつぶやき シニア	○	56	インターネット	5
17	年頭所感	4	57	ホームページ作成	5
18	Pluggdのポッドキャスト・コミュニ	○	58	ホームページ作成	5
19	デジタルステージ - Wikipedia	4	59	マイリンク	5
20	DSMAG: 20031224	4	60	RSSリーダー パーソナルアーカイブ ブログ 残したいブログ&サイト ...	8
21	TRANS MAIDENS ~ルミナリアート	○	61	その他	8
22	どこでもサーチアクセスアップのお	5	62	知恵の倉庫 検索エンジン - アクセ	8
23	zk diary	○	63	総合情報	8
24	2003/12/20~2003/12/14バックナン	4	64	TechCrunch Japanese	18
25	情報処理学会電子図書館	2	65	パスワード認証画面/登録データの	5
26	山口県周防大島町[TOWA ONLINE	5	66	信良 マッシュアップサイト ヤフー	不明
27	ズープス・ヒント(Xoops Hint)/XOOPSモジュールの初心者向け活	5	67	link0 link1 link2 link3 ja link4 はてなブックマーク - キーワード ...	5
28	2004年12月08日新着サイト - Su-	5	68	パスワード認証画面/登録データの	5
29	情報処理学会電子図書館-研究報告「電子化知的財産・社会基盤」	2	69	勤めのことならまずこのページ	1
30	田中研究室 - ブログ	2	70	レンタルサーバ	5
31	財団法人 ニューメディア 開発協会	○	71	【ぬこぼ猫】プログラマの飼ってる猫	不明
32	4BOXシステム分析/集客マーケティングツールと楽しいシステム論	5	72	MacOSXアップデートVer.10.3.2とiTunes4.2(J)と QuickTime6.5(J)他 ...	4
33	ぐるぐる回るよ、ロータリー	○	73	The Search カテゴリ - メモリアル	5
34	Yahoo!グループ: ミロ・デジタル自分史の会 メッセージ: 1030件中 ...	○	74	その他 ← 宣伝登録無料! アクセスアップにもどうぞ!	5
35	2005年12月のにうす一覧	1			
36	B-NAVIサーチエンジン サイバーカルチャー - 気軽に登録できる ...	5			
37	「XOOPSレンタルサーバーホスティング アーカイブタワー/XOOPS入	5			
38	戻る][3] 番のスレッド表示 [3]	5			
39	アーカイブ - Su-Jine	5			
40	レンタルサーバー	5			

○: 初出概念; 数字: 初出ページ; 網掛け: 著者のパーソナルアーカイブ概念

検索結果は 251 件であった。関連するページを除去すると 85 件となった。さらに、同じサイト内の検索結果である「検索結果のインデント表示」を除去すると 74 件となった。

以下ではこうして得た 74 件の結果を分析する。

3. 結果

3.1 概要

74 件の中、2 件(文字化け 1 件、掲示板サイトで過去ログが消えていた 1 件)を除く 72 件の「キャッシュ」に、「パーソナルアーカイブ」あるいは「パーソナル・アーカイブ」という文字列が含まれていた。以下では「パーソナル・アーカイブ」も「パーソナルアーカイブ」に含めて述べる。

ページ全体がパーソナルアーカイブに関連するもの、ページの一部にパーソナルアーカイブに関する記述があるもの、ページ自体はパーソナルアーカイブと関連がないがリンクの中にその記述があるものに大別された。

表 1 に 74 件の検索結果の順位とタイトルを示す。各ページにおいて「パーソナルアーカイブ」という語がどのような文脈で現れるか判定した。初めて出現したと思われる場合にその文脈を初出概念とした。初出概念は 18 件であった。初出概念を持つページを初出ページと呼ぶ。表 1 には○をつけた。

初出ページと同じ概念について述べたページや、初出概念に関連するリンクのページの場合は、表 1 に初出ページの数字をつけた。

表 1 に示すように、上位に初出概念が多い。下位ページに多く見られたのはアクセス向上を目的とした検索サイトであり、初出概念のサイトへのリンクであった。

3.2 初出概念

初出ページ 18 件の特徴と「パーソナルアーカイブ」がどのような文脈で使用されているか述べる。

1 位はニュースサイト IT Media の記事である。この記事におけるパーソナルアーカイブは主として家族写真のデジタルアルバムである。

2 位は著者の情報処理学会における発表論文の PDF ファイル[1]であり、説明を省略する。

3 位は慶應義塾大学の授業資料である。パーソナルアーカイブは、個人レベルで収集した映像を元に制作された、新しいデジタルコンテンツとしての映像作品とされる。

4 位は財団法人デジタルコンテンツ協会のページで、パーソナルアーカイブ賞の記述が含まれている。デジタルカメラで撮影した写真に音楽とスタイルを加えて「映画」のような映像を

自動的に作り出すソフトウェア PhotoCinema が表彰されている。

5 位ではホームページの永久保存サービスを提供しているレンタルサーバー Archivetower トップページが表示される。Archivetower 自体は英文サイトである。

6 位は有限会社ワズズのトップページである。パーソナルアーカイブをコンセプトとして、「過去」の記録のダビングサービスを行っている。

8 位は livedoor Wiki の一ページであり、未来に残したいブログがテーマである。

13 位は Internet Watch のニュース記事である。米 LookSmart の、ブラウザで閲覧したファイルをサーバ上に保存可能とするサービスである「Furl」を紹介している。

14 位は個人ブログである。ブログと iPod をとりあげ、パーソナルアーカイブを「過去のアーカイブにアクセスでき、個人で編集できるもの、リアルタイムではないもの」として言及している。

15 位はマクセルの録画用 DVD シリーズの宣伝のページである。個人のファイルを保存するためのメディアとして触れられている。

16 位は何のページか判別できないが、ページ内の永遠のパーソナルアーカイブサービスという言葉にヒットしている。

18 位は、TechCrunch 日本語版というブログの記事であるが内容は判別不能であった。

21 位はトランスメイデンという企画におけるロボットキャラクターの説明ページであり、移し変えできるロボットの記憶という意味のように理解できる。

23 位は個人ブログである。「Web サイトに掲載された情報は個人利用の場合のみ複製/保存可とかになって、同時にパーソナルアーカイブサービスができる」と書かれている。

31 位は財団法人ニューメディア協会の発行した「メディア」という PDF 冊子である。「デジタルアーカイブ産業のゴールは、明らかにパーソナルアーカイブ産業なのです。単独で何かを作る。のではなく、世界中の様々な情報財、情報アーカイブと連携することによって自らの価値を深めていくことが可能になるのです。」と書かれている。

33 位は掲示板サイトである。「一気に盛り上がったロータリー話をパーソナルアーカイブ化してみました。」と書かれており、何かを検索できる CGI インタフェースが紹介されている。

34 位は Yahoo! Group のミロ・デジタル自分史友の会のメッセージである。「アメリカのパーソナルアーカイブとしてペットの写真を掲載していく事業事例の紹介がありました。」と

書かれている。

48位は個人ブログである。「渡すビデオのダビングの続き。パーソナルアーカイブの為にDVD化も考えているので」と書かれている。

3.3 出現回数の多い概念

図1に初出概念18件の出現回数(全部で72件)を示す。ただし、2回以上出現しなかった初出概念を「その他」としてまとめている。

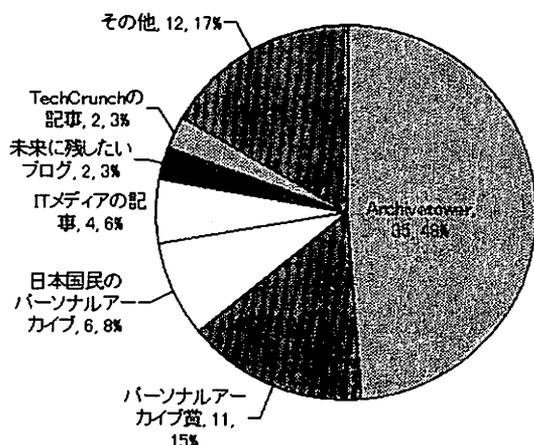


図1：初出概念18件の出現回数

出現回数の多い概念は、1位 Archivetower (35回)、2位 パーソナルアーカイブ賞 (11回)、3位 日本国民のパーソナルアーカイブ (6回)、4位 ITメディアの記事 (4回) であった。

3.4 概念の分類

初出概念18件は、(a) 個人の持つファイルの保存、(b) ホームページ・ブログの永久保存、(c) デジタルアーカイブの一部、(d) キャラクターの記憶の4種類に分類できた。すべてに共通する概念は「個人のデジタルデータの保存」である。

図2に、初出概念18件の中から著者の概念を除いた17件の分類結果、図3に検索結果72件から著者の概念を除いた66件の分類結果を示す。初出概念としては「個人の持つファイルの保存」が多い(58%)が、出現回数を考慮すると「ホームページ・ブログの永久保存」が多い(57%)ことがわかる。後者は検索サイトへの登録の影響である。

4. 考察

4.1 概要

3節で示したとおり、著者の概念を除くと(a) 個人の持つファイルの保存、(b) ホームページ・ブログの永久保存に大別できた。その他に、(c) デジタルアーカイブの一部(2件)、(d) キ

ャクターの記憶(1件)がある(後述)。

以下は、内容、形態、媒体、時間軸、などの切り口から相違点を述べる。(a)、(b)の相違点を表2に整理する。

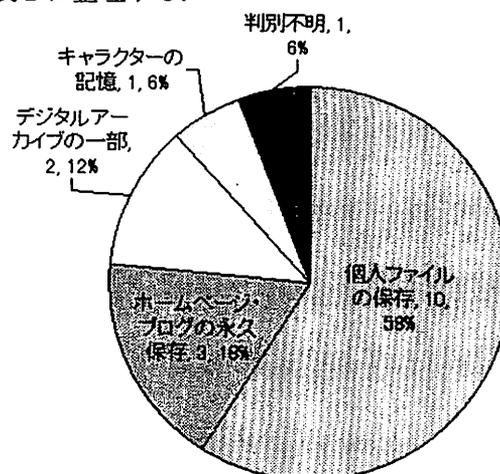


図2：初出概念の分類結果

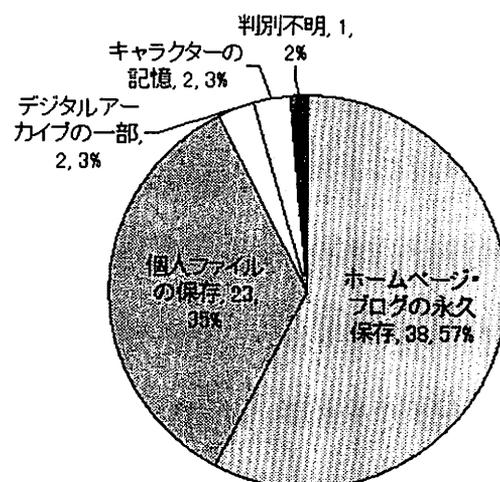


図3：検索結果の分類結果

4.2 内容

(a)は、写真、音楽、映像などが中心であることを既に記した。(b)は、日記やテキストを中心とする個人のファイルの集合であると考えられる。

4.3 形態

(a)はマルチメディアファイルが中心である。(b)は、テキストファイルを中心として、マルチメディアファイルがリンクされる。

4.4 媒体

(a)は、ローカルの場合はDVDに保存されるという言及がある。(a)でネット上の場合、また、(b)の場合の物理媒体は言及されていない。いずれにせよ、デジタルデータであり、アナ

ログの記述はない。

4.5 場所

(a) については、ローカルとネット上の 2 種類がある。(b) はネット上である。

4.6 時間軸

日常的にリアルタイムに検索するのではなく、かたまりでまとめて蓄積しておく、という点で共通している。

(a) については、整理しておき後で利用するものである。(b) は、後世に残すものである。

4.7 利用者

(a) については、本人及び家族や友人が中心である。(b) は、後世の人あるいは家族が主な対象である。

4.8 利用方法

(a) の利用方法は、保存しておき後で共有する、楽しむ、などである。(b) は利用方法を特定せずに、後世の人や家族に委ねている。

4.9 その他の概念

(c) は、パーソナルアーカイブはデジタルアーカイブの一部であり、パーソナルアーカイブの集合体がデジタルアーカイブになる、という言葉である。

(d) は、キャラクターの記憶という概念であり、パーソナルアーカイブとして別のキャラクターに移し変えることができる、という概念で使われている。

表 2: 主な Web 上のパーソナルアーカイブ概念

	(a) 個人の持つファイルの保存	(b) ホームページ・ブログの永久保存
内容	写真、音楽、映像	日記やテキスト
形態	マルチメディアファイル中心	テキスト中心+マルチメディアファイル
媒体	デジタル+DVD	デジタル
場所	ローカル+ネット上	ネット上
時間軸	保存して後で利用(リアルタイムではない)	後世
利用者	個人、家族、友人	後世の人、家族
利用方法	保存しておき、後で、共有する、楽しむ	特定しない(後世の人に委ねる)

5. 議論

著者の検討している「日本国民のパーソナル

アーカイブ」は、日本国民の人生の記録と作成したデータを永久保存するものである。日本国民のパーソナルアーカイブは (1) 氏名、生年月日、性別、続柄などの個人基本データと、(2) 個人が作成するデータ(テキスト、マルチメディアなど)である個人作成データの2種類から構成される。(1) は利用者を本人や家族に限定した検索が可能であり、(2) は利用者を限定した検索と、限定しない検索が可能である。

時間軸の観点を中心に見ると、全体的に4節の(b)に分類できる。利用者の観点を中心に見ると、(2)の中、個人と家族の利用に関しては(a)でもある。個人の人生の記録や作成するデータの集合体が貴重な資料になるという考えは、(c)と一致する。

3.4節で述べたように、Web上のパーソナルアーカイブ概念に共通する概念は「個人のデジタルデータの保存」である。これをWeb上の一般的なパーソナルアーカイブ概念とすると、(2)はこれに含まれる。(1)の部分が変わっている。すなわち、著者の日本国民のパーソナルアーカイブは、一般的なパーソナルアーカイブ概念に加えて、個人情報検索と、家族による検索が可能なシステムと位置付けることができる。

6. おわりに

Web上のパーソナルアーカイブ概念は、「個人の持つファイルの保存」「ホームページやブログの永久保存」に大別できた。すべてに共通する概念は「個人のデジタルデータの保存」であった。

参考文献

- [1] 村上晴美：日本国民のパーソナルアーカイブ構想，情報処理学会研究報告，Vol.2006，No.31，pp.41-46（2006）。
- [2] 村上晴美：日本国民のパーソナルアーカイブ構想(2) - 個人基本データ検索機能の検討 -，情報処理学会研究報告，Vol.2006，No.128，pp.45-52（2006）。
- [3] 広辞苑第五版，岩波書店（1998）。
- [4] 大辞泉増補・新装版（デジタル大辞泉），小学館（2006）。
- [5] NDL-OPAC，<http://opac.ndl.go.jp/>。